

投資を始める前に確認する5つのこと

証券口座を開く前に確認しておく、あとで詰まりにくくなる5つの質問です。答えは人によって違うので、ここには答えを書いていません。順番に自分で埋めてみてください。印刷して使えます。

1 今月、なくても困らなかった支出はいくらありましたか

家計簿を完成させる必要はありません。1円単位も不要です。カードの明細を上から眺めて、「これは要らなかったな」というものを見つけるだけで十分です。

・ここを飛ばすと：毎月いくら出せるか分からないまま口座を開くことになり、積立金額の入力欄で止まります。

書いてみる：なくても困らなかった支出（1つでOK）

2 投資に回すお金を、どこに置いておきますか

生活費と同じ口座に入っていると、たいてい使ってしまう。銀行によっては、一つの口座の中で用途ごとに分けられる機能があります。名前を付けて分けておくと、使いにくくなります。

・ここを飛ばすと：積立の引き落とし日に残高が足りず、続かなくなります。

書いてみる：投資用のお金を置く場所

3 あなたが怖いのは、投資ですか、トレーディングですか

チャートに張りつく、上がりそうなものを当てる、短期で売り買いする——これを想像しているなら、それはトレーディングのイメージです。決まった金額を定期的に買い続けるやり方は、当てにいく行動を含みません。

・ここを飛ばすと：自分が怖がっている対象と、これからやろうとしていることが別物のまま、理由の分からない不安が残ります。

書いてみる：投資をためらっている理由を、一文で

4 その証券口座は、いま使っている銀行とつながりますか

選ぶときに効くのは、還元率よりもお金を動かす手間です。入金や振替が面倒だと、続きません。すでに使っている銀行・カード・携帯がどこにまとまっているかを、先に書き出してみてください。

・ここを飛ばすと：比較サイトを何時間見ても決まらず、あるいは開いたあとで引越すことになります（私は2回引越しました）。

書いてみる：いま自分が一番長くいる経済圏

5 失敗しても痛くない最初の金額は、いくらですか

「月3万円」といった数字は目安であって、あなたの数字ではありません。まず、減っても平気でいられる金額を決めてください。1,000円でも500円でも構いません。最初の目的は増やすことではなく、仕組みを自分の目で見ることです。

・ここを飛ばすと：勢いで大きな金額を設定し、最初の下落でやめることになります。やめてしまうことが、少額で続けることよりずっと惜しい結果です。

書いてみる：最初の1か月に出せる金額

5つ埋まったら、口座を開く準備はできています。埋まらない項目があるなら、そこが今の詰まりどころです。

※ このチェックリストは私個人の経験の記録であり、投資助言ではありません。特定の金融機関や金融商品を勧めるものでもありません。投資には元本割れを含む損失のリスクがあります。ご自身の状況を踏まえ、ご自身の責任でご判断ください。